



2024年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年4月30日

上場会社名 株式会社篠崎屋

上場取引所 東

コード番号 2926 URL <https://www.shinozakiya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長兼経営企画部長兼IR室長 (氏名) 矢立 実 TEL 048-970-4949

四半期報告書提出予定日 2024年5月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の業績(2023年10月1日～2024年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,433	4.0	23		24		14	59.5
2023年9月期第2四半期	1,378	6.0	23		22		35	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	1.01	
2023年9月期第2四半期	2.50	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第2四半期	1,499	1,053	70.3	74.40
2023年9月期	1,440	1,039	72.1	73.39

(参考)自己資本 2024年9月期第2四半期 1,053百万円 2023年9月期 1,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		0.00		0.00	0.00
2024年9月期		0.00			
2024年9月期(予想)					

2024年9月期の配当予想額につきましては、業績予想の開示を行っていないことから、現時点において未定とさせていただきます。配当につきましては業績予想の見通しを開示した際にお知らせいたします。

3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、第2四半期累計期間につきましては同第2四半期中、及び同通期につきましては同第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をまいります。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期2Q	14,436,600 株	2023年9月期	14,436,600 株
期末自己株式数	2024年9月期2Q	278,800 株	2023年9月期	278,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期2Q	14,157,800 株	2023年9月期2Q	14,157,800 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績見通し等の前提となる仮定及び業績見通し等のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ、「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、消費者にとって価値のある商品づくり、人づくり、店づくりを目指し、「よりいいものをより安く」提供し、「三代目茂蔵」のブランド力を強化・確立することで、売上高及び利益の向上を図ってまいります。

当第2四半期累計期間において、商品につきましては、引き続き「健康」をキーワードに「茂蔵オリジナル商品」を強化し、物価高騰の今後の対策として、顧客数の確保を第一に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の売上高は1,433,478千円(前年同四半期比4.0%増)、営業利益は23,082千円(前年同四半期は営業損失23,222千円)、経常利益は24,731千円(前年同四半期は経常損失22,024千円)、四半期純利益は14,310千円(前年同四半期比59.5%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(小売事業)

当セグメントにおいては「よりいいものをより安く」をコンセプトに「三代目茂蔵」ブランドのクオリティ向上を推し進めております。当第2四半期累計期間におきましては、引き続き「健康」をキーワードに「茂蔵オリジナル商品」の開発強化をすすめ健康ブランド向上に努めました。具体的には弁当類・菓子類等を中心に店頭商品を最重要商品と位置づけ顧客数向上に努めてまいりました。

これらにより1店舗平均の顧客数は前年同四半期比107.4%、顧客単価は価格見直し等もあり、同107.8%となりました。

店舗につきましては、リモート会議にて販売スタッフとの情報共有を徹底することにより1店舗あたりの生産性向上を目指しました。

以上の結果、小売事業の売上高は1,285,572千円(前年同四半期比7.1%増)となりました。セグメント利益(営業利益)につきましては、顧客数の増減を慎重に判断しながら販売価格を見直した結果、売上総利益率が改善したことにより88,945千円(前年同四半期比162.8%増)となりました。

(その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は147,906千円(前年同四半期比17.0%減)、セグメント利益(営業利益)は6,921千円(前年同四半期比56.9%減)となりました。

なお、当第2四半期累計期間の出店状況は、次のとおりであります。

(単位：店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当第2四半期末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」(直営店)	31	—	—	31
その他事業	「三代目茂蔵」(加盟店)	387	16	14	389
合計		418	16	14	420

（2）財政状態に関する説明

① 財政状態

（資産）

当第2四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して58,556千円増加し1,499,314千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加74,682千円、一方で水海道工場売却に係る売却代金の回収に伴う長期未収入金の減少18,804千円等によるものであります。

（負債）

当第2四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して44,246千円増加し445,956千円となりました。主な要因は、買掛金の増加62,684千円、一方で1年内返済予定の長期借入金の減少11,250千円等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して14,310千円増加し1,053,357千円となりました。これは四半期純利益14,310千円の計上により利益剰余金が14,310千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して74,682千円増加し701,161千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、69,577千円（前年同四半期は50,768千円の収入）となりました。これは主に、増加要因として税引前四半期純利益23,719千円、仕入債務の増加額62,684千円、減少要因として法人税等の支払額14,026千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、16,354千円（前年同四半期は58,875千円の収入）となりました。これは、有形固定資産の売却による収入18,804千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、11,250千円（前年同四半期は6,654千円の支出）となりました。長期借入金の返済による支出11,250千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。

なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、通期につきましては第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	626,478	701,161
売掛金及び契約資産	66,546	68,826
商品及び製品	31,734	38,604
原材料及び貯蔵品	3,165	3,024
その他	66,748	65,316
貸倒引当金	△40	△40
流動資産合計	794,632	876,893
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	26,539	23,533
構築物(純額)	3,285	3,053
工具、器具及び備品(純額)	4,787	4,255
土地	189,970	189,970
その他(純額)	2,621	2,067
有形固定資産合計	227,204	222,879
無形固定資産	3,996	3,408
投資その他の資産		
敷金及び保証金	104,525	104,538
長期未収入金	310,266	291,462
その他	429	429
貸倒引当金	△297	△297
投資その他の資産合計	414,923	396,132
固定資産合計	646,125	622,421
資産合計	1,440,757	1,499,314
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,364	300,049
1年内返済予定の長期借入金	18,750	7,500
未払金	83,258	76,451
未払費用	34,466	36,808
未払法人税等	20,924	16,709
その他	4,245	5,737
流動負債合計	399,010	443,256
固定負債		
長期預り保証金	2,700	2,700
固定負債合計	2,700	2,700
負債合計	401,710	445,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	120,446	120,446
利益剰余金	△40,503	△26,193
自己株式	△40,896	△40,896
株主資本合計	1,039,046	1,053,357
純資産合計	1,039,046	1,053,357
負債純資産合計	1,440,757	1,499,314

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,378,752	1,433,478
売上原価	995,194	1,020,846
売上総利益	383,557	412,632
販売費及び一般管理費	406,779	389,550
営業利益又は営業損失(△)	△23,222	23,082
営業外収益		
受取利息	1,293	2,123
受取賃貸料	3,570	4,791
その他	15	16
営業外収益合計	4,878	6,931
営業外費用		
支払利息	112	47
賃貸費用	3,559	4,726
その他	10	508
営業外費用合計	3,681	5,282
経常利益又は経常損失(△)	△22,024	24,731
特別利益		
固定資産売却益	82,449	—
特別利益合計	82,449	—
特別損失		
減損損失	3,307	1,011
固定資産除却損	0	0
店舗閉鎖損失	7,085	—
特別損失合計	10,392	1,011
税引前四半期純利益	50,031	23,719
法人税、住民税及び事業税	14,659	9,408
法人税等合計	14,659	9,408
四半期純利益	35,372	14,310

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）	当第2四半期累計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	50,031	23,719
減価償却費及びその他の償却費	8,157	4,369
減損損失	3,307	1,011
受取利息及び受取配当金	△1,293	△2,123
支払利息	112	47
為替差損益（△は益）	5	△0
固定資産売却益	△82,449	—
固定資産除却損	0	0
店舗閉鎖損失	7,085	—
売上債権の増減額（△は増加）	177	△2,279
棚卸資産の増減額（△は増加）	3,632	△6,729
仕入債務の増減額（△は減少）	52,010	62,684
未払金の増減額（△は減少）	5,108	1,822
未払消費税等の増減額（△は減少）	16,751	△6,259
その他	△6,921	5,262
小計	55,716	81,523
利息及び配当金の受取額	1,293	2,123
利息の支払額	△109	△43
法人税等の支払額	△6,132	△14,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,768	69,577
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△461	△2,436
有形固定資産の売却による収入	48,622	18,804
無形固定資産の取得による支出	△1,280	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△13
敷金及び保証金の回収による収入	10,843	—
リース債権の回収による収入	1,151	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	58,875	16,354
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	30,000	—
長期借入金の返済による支出	△36,654	△11,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,654	△11,250
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	102,984	74,682
現金及び現金同等物の期首残高	465,911	626,478
現金及び現金同等物の四半期末残高	568,895	701,161

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,200,488	178,264	1,378,752	—	1,378,752
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,200,488	178,264	1,378,752	—	1,378,752
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,200,488	178,264	1,378,752	—	1,378,752
セグメント損益	33,844	16,065	49,909	△73,131	△23,222

（注） 1. セグメント損益の調整額△73,131千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「小売事業」セグメントにおいて、不採算店舗のうち今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗について、3,307千円の減損損失を計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,285,572	147,906	1,433,478	—	1,433,478
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,285,572	147,906	1,433,478	—	1,433,478
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,285,572	147,906	1,433,478	—	1,433,478
セグメント損益	88,945	6,921	95,866	△72,784	23,082

(注) 1. セグメント損益の調整額△72,784千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「小売事業」セグメントにおいて、不採算店舗のうち今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗について、1,011千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。